

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	(毎月決算型) 無期限 (2015年2月10日設定) (年2回決算型) 無期限 (2015年4月10日設定)	
運用方針	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてインドの公益およびインフラ関連の債券(以下「公益インフラ債券」)に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	インドの公益インフラ債券を主要投資対象とします。
組入制限	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)	<ul style="list-style-type: none"> 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 株式(新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。)への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。
	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 株式(新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。)への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。
分配方針	(毎月決算型) 原則として毎月10日(休業日の場合は翌営業日) (年2回決算型) 原則として毎年1月10日および7月10日(休業日の場合は翌営業日) 各ファンドの毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。	

運用報告書 (全体版)

イーストスプリング・ インド公益インフラ債券ファンド (毎月決算型)／(年2回決算型)

(毎月決算型)

第113期(決算日2024年8月13日) 第116期(決算日2024年11月11日)
第114期(決算日2024年9月10日) 第117期(決算日2024年12月10日)
第115期(決算日2024年10月10日) 第118期(決算日2025年1月10日)

(年2回決算型)

第20期 (決算日2025年1月10日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、「イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)」は、上記の決算を行いましたので、ここに各期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

【お問い合わせ先】

電話番号: 03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

ホームページアドレス: <https://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)

(毎月決算型)

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 組 入 比	券 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金			
	円		円		%	%	百万円
89期(2022年8月10日)	8,948		45		△0.6	88.9	28,880
90期(2022年9月12日)	9,470		45		6.3	88.7	30,673
91期(2022年10月11日)	9,292		45		△1.4	86.6	30,048
92期(2022年11月10日)	9,446		45		2.1	90.8	30,640
93期(2022年12月12日)	8,745		45		△6.9	90.3	28,104
94期(2023年1月10日)	8,420		45		△3.2	92.1	27,190
95期(2023年2月10日)	8,394		45		0.2	90.7	27,492
96期(2023年3月10日)	8,662		45		3.7	90.8	28,717
97期(2023年4月10日)	8,503		45		△1.3	91.8	28,537
98期(2023年5月10日)	8,668		45		2.5	89.9	29,476
99期(2023年6月12日)	8,870		45		2.8	90.0	30,845
100期(2023年7月10日)	9,039		45		2.4	90.3	32,693
101期(2023年8月10日)	9,080		45		1.0	92.1	34,262
102期(2023年9月11日)	9,221		45		2.0	91.9	36,088
103期(2023年10月10日)	9,282		45		1.1	92.7	37,635
104期(2023年11月10日)	9,427		45		2.0	91.7	39,834
105期(2023年12月11日)	9,014		45		△3.9	93.5	39,447
106期(2024年1月10日)	9,016		45		0.5	92.2	39,765
107期(2024年2月13日)	9,318		45		3.8	91.7	41,611
108期(2024年3月11日)	9,172		45		△1.1	88.9	41,109
109期(2024年4月10日)	9,456		45		3.6	91.8	42,557
110期(2024年5月10日)	9,641		45		2.4	93.6	43,534
111期(2024年6月10日)	9,701		45		1.1	87.5	44,754
112期(2024年7月10日)	9,945		45		3.0	88.7	46,486
113期(2024年8月13日)	9,075		45		△8.3	93.2	42,704
114期(2024年9月10日)	8,868		45		△1.8	91.4	42,001
115期(2024年10月10日)	9,236		45		4.7	92.0	44,028
116期(2024年11月11日)	9,381		45		2.1	92.6	44,307
117期(2024年12月10日)	9,227		45		△1.2	92.8	43,518
118期(2025年1月10日)	9,506		45		3.5	92.6	44,191

(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)

(毎月決算型)

○当作成期中の基準価額等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率
			騰 落 率	率	
第113期	(期 首) 2024年 7月10日	円 9,945		% —	% 88.7
	7 月末	9,443		△5.0	92.2
	(期 末) 2024年 8月13日	9,120		△8.3	93.2
第114期	(期 首) 2024年 8月13日	9,075		—	93.2
	8 月末	9,002		△0.8	93.5
	(期 末) 2024年 9月10日	8,913		△1.8	91.4
第115期	(期 首) 2024年 9月10日	8,868		—	91.4
	9 月末	8,863		△0.1	93.0
	(期 末) 2024年10月10日	9,281		4.7	92.0
第116期	(期 首) 2024年10月10日	9,236		—	92.0
	10 月末	9,509		3.0	93.9
	(期 末) 2024年11月11日	9,426		2.1	92.6
第117期	(期 首) 2024年11月11日	9,381		—	92.6
	11 月末	9,246		△1.4	93.6
	(期 末) 2024年12月10日	9,272		△1.2	92.8
第118期	(期 首) 2024年12月10日	9,227		—	92.8
	12 月末	9,590		3.9	92.0
	(期 末) 2025年 1月10日	9,551		3.5	92.6

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)

(年2回決算型)

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 組 入 比	券 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金 騰 落 中 率			
16期(2023年1月10日)	円 13,179		円 0	% △ 4.2	% 92.3	百万円 9,155	
17期(2023年7月10日)	14,600		0	10.8	90.4	11,774	
18期(2024年1月10日)	14,996		0	2.7	92.3	15,055	
19期(2024年7月10日)	17,023		0	13.5	88.8	19,485	
20期(2025年1月10日)	16,760		0	△ 1.5	92.8	19,163	

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

○当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率
		騰 落	率		
(期 首) 2024年7月10日	円 17,023		% -	% 88.8	
7月末	16,162		△ 5.1	92.2	
8月末	15,484		△ 9.0	93.7	
9月末	15,323		△10.0	93.3	
10月末	16,524		△ 2.9	94.3	
11月末	16,142		△ 5.2	94.1	
12月末	16,829		△ 1.1	92.6	
(期 末) 2025年1月10日	16,760		△ 1.5	92.8	

(注) 騰落率は期首比です。

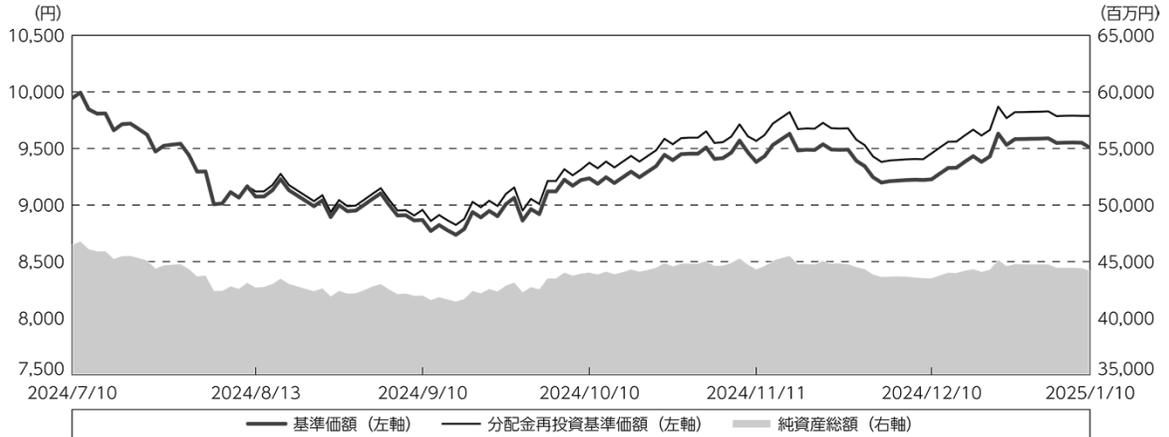
(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

(毎月決算型)

○運用経過

(2024年7月11日～2025年1月10日)

基準価額等の推移について



第113期首：9,945円

第118期末：9,506円 (既払分配金(税込み)：270円)

騰落率：△ 1.6% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2024年7月10日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は下落しました。

(下落要因)

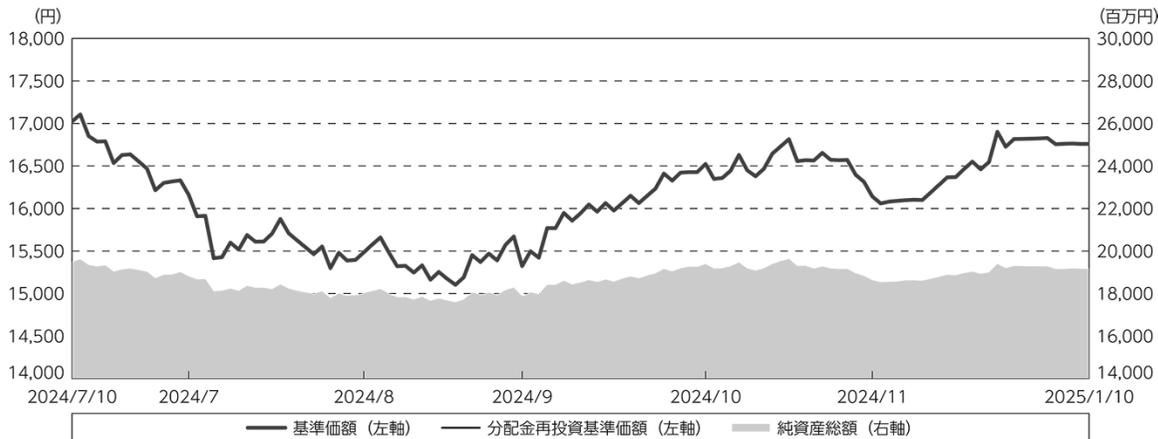
- ・インドルピーの対円での下落。

(年2回決算型)

○運用経過

(2024年7月11日～2025年1月10日)

基準価額等の推移について



期首：17,023円

期末：16,760円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△ 1.5% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2024年7月10日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は下落しました。

(下落要因)

- ・インドルピーの対円での下落。

(毎月決算型／年2回決算型)

投資環境について

インド債券市場

インド10年国債利回りは低下（価格は上昇）しました。

当（作成）期初から2024年9月にかけて、米国でのインフレ圧力が緩和し、FRB（米連邦準備制度理事会）が利下げを開始したことを受けて世界の多くの中央銀行が利下げを実施し世界的に金融緩和が進んだことが背景となりました。インド国内でもインフレが鈍化したことが利回り低下要因となりました。10月から11月半ばにかけて、米国の利下げペースが緩やかになるとの観測が広がったことなどから、多くの国で債券利回りが上昇しました。インド国内でもインフレが再加速したことから、インド国債利回りは上昇しました。しかし11月下旬に発表された2024年7-9月期の実質GDP(国内総生産)成長率が前年同期比+5.4%と前期(同+6.7%)から鈍化したことを受け、利回りは大きく低下しました。12月以降は米国債利回りが上昇しましたが、インド国債利回りは比較的横ばい圏で推移しました。インド準備銀行（中央銀行、RBI）は当（作成）期中は政策金利を据え置きましたが、12月の金融政策決定会合で預金準備率を引き下げ、事実上の緩和に踏み切りました。社債の対国債スプレッドは小幅に縮小しました。

為替市場

インドルピーは、当（作成）期を通じて対米ドルで下落しました。米ドルが対主要通貨で上昇したことやインドの貿易収支が悪化傾向にあったことが背景となりました。米ドル円相場では、日本当局による米ドル売り円買い為替介入や2024年7月末の日銀による利上げで9月まで円高が進みましたが、10月以降は日米の金利差拡大を背景に円安米ドル高が進行しました。当（作成）期を通してみると、小幅な円高米ドル安となったため、インドルピーは対円でも下落しました。

ポートフォリオについて

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（毎月決算型）／（年2回決算型）

イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてインドの公益およびインフラ関連の債券に投資しました。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド

主としてインドの公益およびインフラ関連の債券に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行いました。マクロ経済分析および金利分析に加え、個別発行体に対するクレジット調査に基づく銘柄選択により、運用を行いました。

当（作成）期は、短期債に投資妙味があると考えて、2024年10月までは高いキャリー効果が狙える社債を購入しました。11月以降はそれらの一部売却し、より流動性が高い債券を購入するなど、デュレーションを戦術的にコントロールしました。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)

(毎月決算型／年2回決算型)

ベンチマークとの差異について

当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(毎月決算型)

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第113期	第114期	第115期	第116期	第117期	第118期
	2024年7月11日～ 2024年8月13日	2024年8月14日～ 2024年9月10日	2024年9月11日～ 2024年10月10日	2024年10月11日～ 2024年11月11日	2024年11月12日～ 2024年12月10日	2024年12月11日～ 2025年1月10日
当期分配金 (対基準価額比率)	45 0.493%	45 0.505%	45 0.485%	45 0.477%	45 0.485%	45 0.471%
当期の収益	41	32	44	45	36	45
当期の収益以外	3	12	0	—	8	—
翌期繰越分配対象額	1,679	1,667	1,667	1,675	1,666	1,673

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注) ー印は該当がないことを示しています。

(年2回決算型)

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第20期
	2024年7月11日～ 2025年1月10日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	8,098

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注) ー印は該当がないことを示しています。

(毎月決算型／年2回決算型)

○今後の運用方針について

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)

引き続きイーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド受益証券を高位に組み入れることにより、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指します。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド

インド政府は2024年12月9日、財務次官のサンジャイ・マルホトラ氏をRBIの新総裁に任命すると発表しました。2025年1月にはパトラ副総裁(金融政策担当)も任期満了を迎えるため、その後任人事や、新体制下での政策の継続性および為替市場での介入などが注目されます。今後の債券市場は、米国トランプ政権の関税政策や財政政策、中国の財政政策など外部要因による影響を受ける可能性が高くなります。投資戦略については、現在の局面では短期債を選好しています。また、戦術的にデュレーションを管理することが重要だと考えています。引き続き、発行企業の信用度や市場での流動性を重視しつつ、保守的なデュレーション管理と個別発行体に対するクレジット調査に基づく銘柄選択により、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行って参ります。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)

(毎月決算型)

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年7月11日～2025年1月10日)

項 目	第113期～第118期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 79	% 0.854	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(39)	(0.416)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(39)	(0.416)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.016	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.012)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の 移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.001)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷)	(0)	(0.002)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
(そ の 他 1)	(0)	(0.001)	インドの税務代理人に対する手数料等
合 計	80	0.870	
作成期間の平均基準価額は、9,275円です。			

(注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

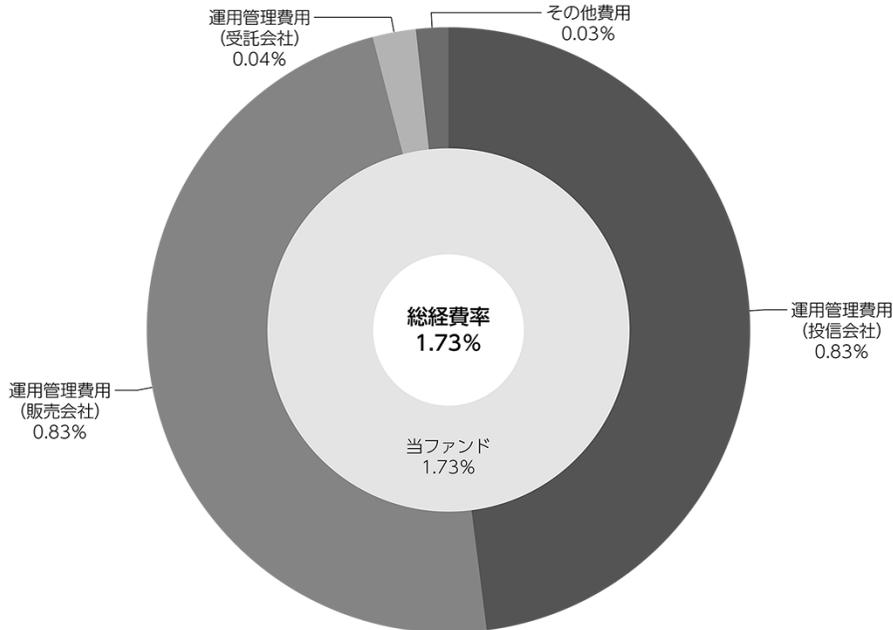
(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(毎月決算型)

(参考情報)

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.73%です。



(注) 各費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)

(毎月決算型)

○売買及び取引の状況

(2024年7月11日～2025年1月10日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	第113期～第118期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド		743,548	1,414,041	1,710,660	3,315,525

(注) 単位未満は切捨てです。

○利害関係人との取引状況等

(2024年7月11日～2025年1月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年1月10日現在)

親投資信託残高

銘	柄	第112期末	第118期末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド		23,102,527	22,135,415	44,465,621

(注) 単位未満は切捨てです。

(注) マザーファンドの2025年1月10日現在の受益権総口数は、31,755,367千口です。

○投資信託財産の構成

(2025年1月10日現在)

項 目	第118期末	
	評 価 額	比 率
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	千円 44,465,621	% 99.8
コール・ローン等、その他	69,308	0.2
投資信託財産総額	44,534,929	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注) イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産(61,567,047千円)の投資信託財産総額(63,865,869千円)に対する比率は96.4%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2025年1月10日における邦貨換算レートは、1米ドル=158.18円、1インドルピー=1.85円です。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)

(毎月決算型)

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第113期末	第114期末	第115期末	第116期末	第117期末	第118期末
	2024年8月13日現在	2024年9月10日現在	2024年10月10日現在	2024年11月11日現在	2024年12月10日現在	2025年1月10日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	43,090,318,589	42,303,929,949	44,429,315,065	44,814,036,691	44,072,107,332	44,534,929,993
コール・ローン等	25,733,547	33,948,607	58,640,249	48,231,234	56,377,194	12,524,982
イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(開辦)	42,987,313,156	42,269,981,240	44,302,965,916	44,587,341,269	43,791,768,472	44,465,621,764
未収入金	77,271,809	—	67,708,724	178,464,043	223,961,497	56,783,210
未収利息	77	102	176	145	169	37
(B) 負債	385,377,640	302,805,742	400,707,520	506,040,305	553,325,706	343,670,392
未払収益分配金	211,761,270	213,120,736	214,525,985	212,549,031	212,236,452	209,191,291
未払解約金	103,005,356	33,948,607	126,348,973	226,695,277	280,338,691	69,308,192
未払信託報酬	70,401,608	55,354,541	59,265,934	66,032,281	59,808,236	64,037,653
その他未払費用	209,406	381,858	566,628	763,716	942,327	1,133,256
(C) 純資産総額(A－B)	42,704,940,949	42,001,124,207	44,028,607,545	44,307,996,386	43,518,781,626	44,191,259,601
元本	47,058,060,058	47,360,163,658	47,672,441,181	47,233,118,087	47,163,656,217	46,486,953,594
次期繰越損益金	△ 4,353,119,109	△ 5,359,039,451	△ 3,643,833,636	△ 2,925,121,701	△ 3,644,874,591	△ 2,295,693,993
(D) 受益権総口数	47,058,060,058口	47,360,163,658口	47,672,441,181口	47,233,118,087口	47,163,656,217口	46,486,953,594口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,075円	8,868円	9,236円	9,381円	9,227円	9,506円

(注) 元本の状況

当ファンドの第113期首元本額は46,741,704,586円、第113～118期中追加設定元本額は3,799,740,658円、第113～118期中一部解約元本額は4,054,491,650円です。

(注) 1口当たり純資産額は、第113期0.9075円、第114期0.8868円、第115期0.9236円、第116期0.9381円、第117期0.9227円、第118期0.9506円です。

(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)

(毎月決算型)

○損益の状況

項 目	第113期	第114期	第115期	第116期	第117期	第118期
	2024年7月11日～ 2024年8月13日	2024年8月14日～ 2024年9月10日	2024年9月11日～ 2024年10月10日	2024年10月11日～ 2024年11月11日	2024年11月12日～ 2024年12月10日	2024年12月11日～ 2025年1月10日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	2,006	2,633	5,508	6,119	5,120	7,007
受取利息	2,006	2,633	5,508	6,119	5,120	7,007
(B) 有価証券売買損益	△3,779,545,539	△ 705,640,251	2,017,170,356	955,943,245	△ 457,686,016	1,560,928,661
売買益	25,344,097	1,435,765	2,028,383,575	969,224,645	8,114,101	1,586,244,636
売買損	△3,804,889,636	△ 707,076,016	△ 11,213,219	△ 13,281,400	△ 465,800,117	△ 25,315,975
(C) 信託報酬等	△ 70,611,014	△ 55,526,993	△ 59,450,704	△ 66,229,369	△ 59,986,847	△ 64,228,582
(D) 当期損益金(A+B+C)	△3,850,154,547	△ 761,164,611	1,957,725,160	889,719,995	△ 517,667,743	1,496,707,086
(E) 前期繰越損益金	4,145,197,381	83,480,421	△ 880,558,741	847,544,602	1,501,170,349	1,566,779,156
(F) 追加信託差損益金	△4,436,400,673	△4,468,234,525	△4,506,474,070	△4,449,837,267	△4,416,140,745	△4,339,988,944
(配当等相当額)	(3,773,010,462)	(3,845,965,208)	(3,940,655,608)	(3,950,273,395)	(4,006,752,492)	(3,979,199,759)
(売買損益相当額)	(△8,209,411,135)	(△8,314,199,733)	(△8,447,129,678)	(△8,400,110,662)	(△8,422,893,237)	(△8,319,188,703)
(G) 計(D+E+F)	△4,141,357,839	△5,145,918,715	△3,429,307,651	△2,712,572,670	△3,432,638,139	△2,086,502,702
(H) 収益分配金	△ 211,761,270	△ 213,120,736	△ 214,525,985	△ 212,549,031	△ 212,236,452	△ 209,191,291
次期繰越損益金(G+H)	△4,353,119,109	△5,359,039,451	△3,643,833,636	△2,925,121,701	△3,644,874,591	△2,295,693,993
追加信託差損益金	△4,436,400,673	△4,468,234,525	△4,506,474,070	△4,449,837,267	△4,416,140,745	△4,339,988,944
(配当等相当額)	(3,775,626,250)	(3,847,143,199)	(3,942,834,452)	(3,951,970,619)	(4,008,842,888)	(3,980,354,969)
(売買損益相当額)	(△8,212,026,923)	(△8,315,377,724)	(△8,449,308,522)	(△8,401,807,886)	(△8,424,983,633)	(△8,320,343,913)
分配準備積立金	4,127,349,981	4,049,046,899	4,005,380,950	3,959,729,615	3,852,928,372	3,799,131,436
繰越損益金	△4,044,068,417	△4,939,851,825	△3,142,740,516	△2,435,014,049	△3,081,662,218	△1,754,836,485

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) マザーファンドの信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、信託財産の純資産総額に年10,000分の37.5の率を乗じて得た金額を委託者報酬の中から支弁しています。

(注) 分配金の計算過程

第113期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(193,913,870円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(3,775,626,250円)および分配準備積立金(4,145,197,381円)より分配対象収益は8,114,737,501円(10,000口当たり1,724円)であり、うち211,761,270円(10,000口当たり45円)を分配金額としております。

第114期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(153,822,498円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(3,847,143,199円)および分配準備積立金(4,108,345,137円)より分配対象収益は8,109,310,834円(10,000口当たり1,712円)であり、うち213,120,736円(10,000口当たり45円)を分配金額としております。

第115期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(211,171,442円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(3,942,834,452円)および分配準備積立金(4,008,735,493円)より分配対象収益は8,162,741,387円(10,000口当たり1,712円)であり、うち214,525,985円(10,000口当たり45円)を分配金額としております。

第116期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(245,294,193円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(3,951,970,619円)および分配準備積立金(3,926,984,453円)より分配対象収益は8,124,249,265円(10,000口当たり1,720円)であり、うち212,549,031円(10,000口当たり45円)を分配金額としております。

第117期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(169,817,628円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(4,008,842,888円)および分配準備積立金(3,895,347,196円)より分配対象収益は8,074,007,712円(10,000口当たり1,711円)であり、うち212,236,452円(10,000口当たり45円)を分配金額としております。

第118期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(236,387,125円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(3,980,354,969円)および分配準備積立金(3,771,935,602円)より分配対象収益は7,988,677,696円(10,000口当たり1,718円)であり、うち209,191,291円(10,000口当たり45円)を分配金額としております。

(毎月決算型)

○分配金のお知らせ

	第113期	第114期	第115期	第116期	第117期	第118期
1万口当たり分配金(税込み)	45円	45円	45円	45円	45円	45円

◇分配金のお支払いは決算日から起算して5営業日までに開始いたします。

◇分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」があります。分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となり、分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)、残りの部分が普通分配金となります。

◇元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、個別元本から元本払戻金(特別分配金)を控除した額がその後の新たな個別元本となります。

◇「自動けいぞく投資コース」をお申込みの場合、分配金は、税金を差引いた後、決算日の基準価額に基づいて自動的に無手数料で再投資いたしました。

○お知らせ

該当事項はありません。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)

(年2回決算型)

○1万口当たりの費用明細

(2024年7月11日～2025年1月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 137	% 0.854	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(67)	(0.416)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(67)	(0.416)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	3	0.019	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.012)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の 移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷)	(1)	(0.003)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
(そ の 他 1)	(0)	(0.001)	インドの税務代理人に対する手数料等
合 計	140	0.873	
期中の平均基準価額は、16,077円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

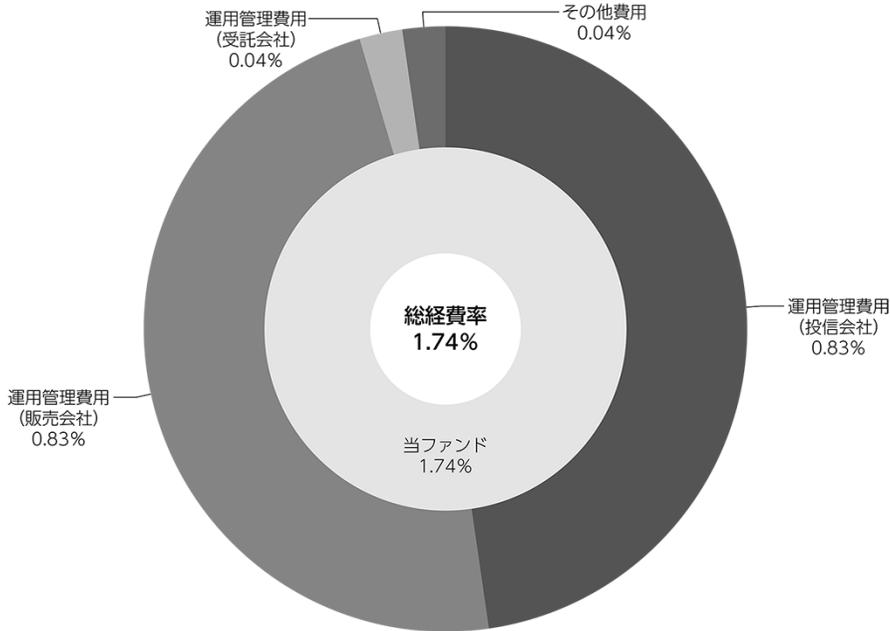
(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(年2回決算型)

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.74%です。



(注) 各費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)

(年2回決算型)

○売買及び取引の状況

(2024年7月11日～2025年1月10日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	598,128	1,147,007	676,514	1,306,787

(注) 単位未満は切捨てです。

○利害関係人との取引状況等

(2024年7月11日～2025年1月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年1月10日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	9,698,339	9,619,952	19,324,560

(注) 単位未満は切捨てです。

(注) マザーファンドの2025年1月10日現在の受益権総口数は、31,755,367千口です。

○投資信託財産の構成

(2025年1月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	19,324,560	99.8
コール・ローン等、その他	31,501	0.2
投資信託財産総額	19,356,061	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注) イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産(61,567,047千円)の投資信託財産総額(63,865,869千円)に対する比率は96.4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2025年1月10日における邦貨換算レートは、1米ドル=158.18円、1インドルピー=1.85円です。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)

(年2回決算型)

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年1月10日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	19,356,061,332	
コール・ローン等	13,946,352	
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド(評価額)	19,324,560,437	
未収入金	17,554,501	
未収利息	42	
(B) 負債	192,300,106	
未払解約金	31,500,853	
未払信託報酬	159,701,509	
その他未払費用	1,097,744	
(C) 純資産総額(A－B)	19,163,761,226	
元本	11,433,997,214	
次期繰越損益金	7,729,764,012	
(D) 受益権総口数	11,433,997,214口	
1万口当たり基準価額(C／D)	16,760円	

(注) 元本の状況

期首元本額	11,446,823,064円
期中追加設定元本額	1,160,955,756円
期中一部解約元本額	1,173,781,606円

(注) 1口当たり純資産額は1.6760円です。

(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

○損益の状況 (2024年7月11日～2025年1月10日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	10,690	
受取利息	10,690	
(B) 有価証券売買損益	△ 43,703,284	
売買益	90,369,247	
売買損	△ 134,072,531	
(C) 信託報酬等	△ 160,799,253	
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 204,491,847	
(E) 前期繰越損益金	4,168,322,996	
(F) 追加信託差損益金	3,765,932,863	
(配当等相当額)	(4,642,832,777)	
(売買損益相当額)	(△ 876,899,914)	
(G) 計(D+E+F)	7,729,764,012	
(H) 収益分配金	0	
次期繰越損益金(G+H)	7,729,764,012	
追加信託差損益金	3,765,932,863	
(配当等相当額)	(4,648,632,268)	
(売買損益相当額)	(△ 882,699,405)	
分配準備積立金	4,611,669,479	
繰越損益金	△ 647,838,330	

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) マザーファンドの信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、信託財産の純資産総額に年10,000分の37.5の率を乗じて得た金額を委託者報酬の中から支弁しています。

(注) 分配金の計算過程

計算期間末における費用控除後の配当等収益(443,346,483円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(4,648,632,268円)および分配準備積立金(4,168,322,996円)より分配対象収益は9,260,301,747円(10,000口当たり8,098円)ですが、当期に分配した金額はありません。

(年2回決算型)

○分配金のお知らせ

当期の分配金は、基準価額水準および市況動向等を勘案し、見送らせていただきました。

○お知らせ

該当事項はありません。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券 マザーファンド 運用報告書

第10期（決算日：2025年1月10日）
（計算期間：2024年1月11日～2025年1月10日）

「イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド」の第10期の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主としてインドの公益およびインフラ関連の債券（以下「公益インフラ債券」）に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	インドの公益インフラ債券を主要投資対象とします。
組入制限	・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 ・株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率	純 資 産 額
		騰 落	中 率			
	円		%			百万円
6期(2021年1月12日)	12,707		3.7	91.0		47,218
7期(2022年1月11日)	14,352		12.9	88.0		39,268
8期(2023年1月10日)	15,300		6.6	91.5		36,613
9期(2024年1月10日)	17,693		15.6	91.6		55,193
10期(2025年1月10日)	20,088		13.5	92.0		63,791

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

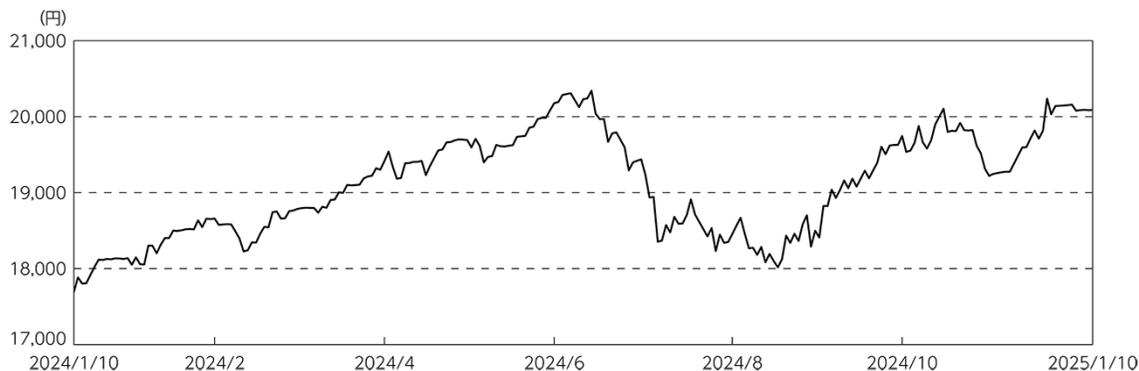
(注) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

○当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率
		騰 落	率		
(期 首)	円		%		%
2024年1月10日	17,693		—		91.6
1月末	18,148		2.6		92.3
2月末	18,659		5.5		93.2
3月末	18,786		6.2		93.8
4月末	19,416		9.7		93.4
5月末	19,595		10.8		91.1
6月末	20,178		14.0		91.9
7月末	19,237		8.7		92.1
8月末	18,456		4.3		93.5
9月末	18,290		3.4		92.9
10月末	19,745		11.6		93.8
11月末	19,315		9.2		93.5
12月末	20,159		13.9		91.9
(期 末)					
2025年1月10日	20,088		13.5		92.0

(注) 騰落率は期首比です。

基準価額の推移について



基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。

(上昇要因)

- ・債券価格の上昇（利回りは低下）。
- ・インドルピーが対円で上昇したこと。

投資環境について

インド債券市場

インド10年国債利回りは低下（価格は上昇）しました。

期初から2024年3月にかけて、インド国債がブルームバーグ新興市場自国通貨建て国債インデックスに組み入れられる予定が発表されたことや、インド政府が2月に発表した暫定国家予算案で2024/25年度の市場からの借入計画や財政赤字見通しが市場予想を下回ったことなどから、インド国債の利回りは低下しました。4月はFRB（米連邦準備制度理事会）の利下げ開始が遅れるとの観測や原油価格の高騰、中東情勢の悪化などを背景に米国債利回りが上昇したこと、インド国債の利回りも上昇しました。5月以降は、軟調な経済指標などを背景に米国債利回りが低下に転じ、インド国債の利回りも低下しました。インド準備銀行（中央銀行、RBI）理事会が政府に対する過去最高の配当金支払いを承認したことで財政赤字縮小の期待が高まったことや、政府による国債買い戻し計画が発表されたことなども利回りの低下要因となりました。9月にはFRBが利下げを開始したことを受けて世界の多くの中央銀行が利下げを実施し世界的に金融緩和が進み利回りが低下しました。しかし10月から11月半ばにかけて、米国の利下げペースが緩やかになるとの観測が広がったことなどから、多くの国で債券利回りが上昇しました。インド国内でもインフレが再加速したことから、インド国債利回りは上昇しましたが、11月下旬に発表された2024年7-9月期の実質GDP（国内総生産）成長率が前年同期比+5.4%と前期（同+6.7%）から鈍化したことを受け、利回りは大きく低下しました。12月以降は米国債利回りが上昇しましたが、インド国債利回りは比較的に横ばい圏で推移しました。RBIは当期間中は政策金利を据

え置きましたが、12月の金融政策決定会合で預金準備率を引き下げ、事実上の緩和に踏み切りました。社債の対国債スプレッドはほぼ横ばいとなりました。

為替市場

インドルピーは、対米ドルで下落しました。2024年11月までは米ドルが対主要通貨で上昇したことや原油価格が上昇傾向にあったことはインドルピーの下落要因となる一方で、インド金融市場への資金流入、RBIによる為替介入などがインドルピーの下落を抑える要因となりましたが、12月以降は米国債利回りの上昇を背景に米ドル高が加速しました。米ドル円相場は、7月の日本当局による米ドル売り円買い為替介入や日銀の利上げにより円高が進む局面もあったものの、通期では、日米の金利差拡大を背景に円安米ドル高が進行したことから、インドルピーは対円では上昇しました。

ポートフォリオについて

主としてインドの公益およびインフラ関連の債券に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行いました。マクロ経済分析および金利分析に加え、個別発行体に対するクレジット調査に基づく銘柄選択により、運用を行いました。

当期は、短期の社債に投資妙味があると考えて、デュレーションを比較的短く維持しました。また、一時的に長期国債や高いキャリー効果が狙える社債の保有を増やすなど、戦術的な売買を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

○今後の運用方針について

インド政府は2024年12月9日、財務次官のサンジャイ・マルホトラ氏をRBIの新総裁に任命すると発表しました。2025年1月にはパトラ副総裁（金融政策担当）も任期満了を迎えるため、その後任人事や、新体制下での政策の継続性および為替市場での介入などが注目されます。今後の債券市場は、米国トランプ政権の関税政策や財政政策、中国の財政政策など外部要因による影響を受ける可能性が高くなります。投資戦略については、現在の局面では短期債を選好しています。また、戦術的にデュレーションを管理することが重要だと考えています。引き続き、発行企業の信用度や市場での流動性を重視しつつ、保守的なデュレーション管理と個別発行体に対するクレジット調査に基づく銘柄選択により、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行って参ります。

○1万口当たりの費用明細

(2024年1月11日～2025年1月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 6	% 0.033	(a)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(5)	(0.029)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 1 ）	(1)	(0.004)	信託管理事務に係る手数料およびインドの税務代理人に対する手数料等
（ そ の 他 2 ）	(0)	(0.000)	権利に係る税金、費用等
合 計	6	0.033	
期中の平均基準価額は、19,165円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2024年1月11日～2025年1月10日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外	インド	国債証券	千インドルピー 4,801,047	千インドルピー 7,348,133
		特殊債券	1,594,879	2,129,037
国		社債券（投資法人債券を含む）	14,949,349	9,294,687 (18,000)

(注) 金額は受渡し代金です（経過利子分は含まれておりません。）。

(注) 単位未満は切捨てです。

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 社債券（投資法人債券を含む）には、新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2024年1月11日～2025年1月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年1月10日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
インド	千インドルピー 31,413,000	千インドルピー 31,724,633	千円 58,690,571	% 92.0	% 8.7	% 33.9	% 18.7	% 39.5
合 計	31,413,000	31,724,633	58,690,571	92.0	8.7	33.9	18.7	39.5

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

(注) 一印は組入れなしです。

(注) BB格以下組入比率の計算においては、S&Pおよびムーディーズの発行体格付けをもとに、当社が独自の基準で採用した格付けを用いています。なお、無格付けの債券組入比率は34.4%です。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	当 期 末				償還年月日	
		利 率	額面金額	評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
		%	千インドルピー	千インドルピー	千円		
インド	国債証券	7.1% INDIA GOVT BOND	7.1	2,250,000	2,293,888	4,243,693	2034/4/8
		7.18% INDIA GOVT BOND	7.18	1,250,000	1,278,235	2,364,734	2033/8/14
		7.26% INDIA GOVT BOND	7.26	1,250,000	1,288,687	2,384,071	2033/2/6
		7.57% INDIA GOVT BOND	7.57	950,000	997,524	1,845,420	2033/6/17
		7.88% INDIA GOVT INDIA GOVERNMENT BOND	7.88	10,000	10,514	19,452	2030/3/19
			7.93	500,000	515,422	953,532	2033/9/22
	特殊債券 (除く金融債)	6.85% NABARD	6.85	250,000	244,946	453,150	2031/3/21
		7.4% NABARD	7.4	500,000	498,218	921,704	2026/1/30
		7.43% SMALL IND DEV BNK	7.43	750,000	747,297	1,382,500	2026/8/31
		7.44% SMALL IND DEV BNK	7.44	850,000	847,055	1,567,052	2026/9/4
		7.47% SMALL IND DEV BNK	7.47	100,000	99,644	184,343	2025/11/25
		7.5% NABARD	7.5	500,000	498,492	922,210	2026/8/31
		7.55% SMALL IND DEV BNK	7.55	500,000	499,093	923,322	2026/9/22
		7.58% NABARD	7.58	900,000	898,360	1,661,966	2026/7/31
		7.8% NABARD	7.8	500,000	502,315	929,282	2027/3/15
		8.52% HOUSING & URBAN DE	8.52	478,000	498,024	921,345	2028/11/28
	8.87% EX-IM BANK OF IND	8.87	100,000	100,148	185,273	2025/3/13	
	普通社債券 (含む投資法人債券)	6.09% POWER FINANCE CORP	6.09	250,000	244,215	451,798	2026/8/27
		6.35% HDB FINANCIAL SERV	6.35	250,000	243,915	451,243	2026/9/11
		6.59% SUMMIT DIGITEL INF	6.59	750,000	738,600	1,366,410	2026/6/16
		6.92% REC LTD	6.92	250,000	245,003	453,255	2032/3/20
		7.37% POWER FINANCE CORP	7.37	250,000	249,031	460,708	2026/5/22
		7.44% REC LTD	7.44	500,000	498,458	922,147	2026/4/30
		7.48% INDIAN RAILWAY FIN	7.48	250,000	252,061	466,312	2029/8/13
		7.6% REC LTD	7.6	250,000	249,631	461,818	2026/2/28
		7.61% LIC HOUSING FINANC	7.61	1,000,000	1,005,377	1,859,947	2034/8/29
		7.63% POWER FINANCE CORP	7.63	350,000	349,820	647,167	2026/8/14
		7.64% REC LTD	7.64	500,000	499,649	924,351	2026/6/30
		7.71% LIC HOUSING FINANC	7.71	250,000	253,165	468,355	2033/5/9
		7.7201% LIC HOUSING FINA	7.7201	250,000	249,991	462,484	2026/2/12
		7.74% LIC HOUSING FINANC	7.74	500,000	500,752	926,391	2028/2/11
		7.75% HDFC BANK LTD	7.75	500,000	507,260	938,431	2033/6/13
		7.8% HDFC BANK LTD	7.8	1,450,000	1,475,321	2,729,344	2033/5/3
7.96% PIPELINE INFRASTRU		7.96	280,000	284,785	526,852	2029/3/11	
7.97% HDFC BANK LTD		7.97	750,000	770,640	1,425,685	2033/2/17	
8.0736% HDB FINANCIAL SE		8.0736	1,000,000	1,001,063	1,851,966	2026/4/17	
8.14% NUCLEAR POWER CORP		8.14	50,000	50,369	93,183	2026/3/25	
8.15% GODREJ PROPERTIES		8.15	250,000	249,463	461,507	2026/7/3	
8.23% PUNJAB NATIONAL BK		8.23	75,000	74,998	138,746	2025/2/9	
8.27% RURAL ELECTRIFICAT		8.27	70,000	70,022	129,542	2025/2/6	
8.3% GODREJ PROPERTIES		8.3	500,000	500,286	925,530	2027/3/19	
8.3% REC LIMITED		8.3	750,000	777,179	1,437,781	2029/3/23	
8.3% SMFG INDIA CREDIT C		8.3	1,000,000	1,000,243	1,850,449	2025/9/15	
8.35% HDFC BANK LTD		8.35	250,000	251,477	465,232	2026/5/13	
8.4% GODREJ PROPERTIES	8.4	650,000	652,419	1,206,976	2028/1/25		

銘柄	当 期 末					
	利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
インド	%	千インドルピー	千インドルピー	千円		
普通社債券 (含む投資法人債)	8.4%	300,000	303,013	560,574	2028/1/18	
	8.4%	300,000	303,770	561,975	2029/1/18	
	8.42%	500,000	504,009	932,417	2027/12/27	
	8.52%	100,000	100,057	185,106	2025/3/3	
	8.55%	400,000	404,504	748,332	2029/7/26	
	8.6%	1,050,000	1,048,586	1,939,885	2025/8/25	
	8.75%	1,000,000	996,964	1,844,383	2026/10/3	
	8.9%	200,000	201,413	372,614	2027/10/7	
	8.92%	1,000,000	997,943	1,846,194	2026/11/16	
	8.95%	250,000	252,584	467,281	2026/12/4	
	8.97%	750,000	753,324	1,393,650	2027/1/18	
	9.54%	150,000	159,195	294,511	2033/3/16	
	9.54%	150,000	158,890	293,947	2034/3/16	
	9.54%	150,000	158,232	292,730	2035/3/16	
	9.54%	150,000	159,801	295,632	2036/3/17	
	9.54%	150,000	159,271	294,651	2037/3/16	
合 計				58,690,571		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

○投資信託財産の構成

(2025年1月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 58,690,571	% 91.9
コール・ローン等、その他	5,175,298	8.1
投資信託財産総額	63,865,869	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注) 外貨建純資産(61,567,047千円)の投資信託財産総額(63,865,869千円)に対する比率は96.4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2025年1月10日における邦貨換算レートは、1米ドル=158.18円、1インドルピー=1.85円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年1月10日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	63,865,869,457
コール・ローン等	2,493,366,430
公社債(評価額)	58,690,571,707
未収利息	2,231,764,793
前払金	14,269,868
前払費用	435,896,659
(B) 負債	74,337,711
未払解約金	74,337,711
(C) 純資産総額(A-B)	63,791,531,746
元本	31,755,367,484
次期繰越損益金	32,036,164,262
(D) 受益権総口数	31,755,367,484口
1万口当たり基準価額(C/D)	20,088円

(注) 元本の状況

期首元本額	31,195,193,575円
期中追加設定元本額	4,395,319,029円
期中一部解約元本額	3,835,145,120円
期末における元本の内訳	
イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)	22,135,415,056円
イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(年2回決算型)	9,619,952,428円

(注) 1口当たり純資産額は2.0088円です。

(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

○お知らせ

該当事項はありません。

○損益の状況 (2024年1月11日～2025年1月10日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	4,046,451,612
受取利息	4,046,868,732
支払利息	△ 417,120
(B) 有価証券売買損益	3,510,971,682
売買益	5,311,654,053
売買損	△ 1,800,682,371
(C) 保管費用等	△ 20,635,496
(D) 当期損益金(A+B+C)	7,536,787,798
(E) 前期繰越損益金	23,997,833,154
(F) 追加信託差損益金	4,004,882,476
(G) 解約差損益金	△ 3,503,339,166
(H) 計(D+E+F+G)	32,036,164,262
次期繰越損益金(H)	32,036,164,262

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。